

3月25日 卒業式式辞～挑戦は続く～（一部抜粋）

今日は、下級生の憧れだった卒業生の皆さんに、私から、最後の話をします。

ミラノ・コルティナ冬季オリンピックのフィギアスケートで活躍した坂本花織選手と坂本選手が絶大な信頼を寄せる中野園子コーチとのエピソードから、私が考えたことについてお話しをします。

坂本選手は、今シーズンを最後に引退して指導者になることを決め、金メダルを目指してオリンピックに臨みました。結果は、終盤のミスもありわずかの差で二位。銀メダルに終わりました。坂本選手は、メダリスト会見で、大会を振り返るとともに、中野コーチにかけられた言葉を 次のように紹介しました。

「今季で引退するって決めて、この1年頑張ってきて、正直 最後の最後やり切れなかったのが 悔しいというか 心残りではあるんですけど、悔しいと思うぐらい頑張ったってことだし、この悔しさを 次のキャリアの糧にできたらと思っています。中野コーチからは『あなたが銀になったから、今後あなたがオリンピック金メダリストを育てていきなさい』と言われました。教え子を金メダルに導いていけるようになったら、また五輪にふと現れるかなと思います。」

皆さんは、この会見で語られたエピソードから、何を考えるでしょうか。私はこのエピソードを知り、このように考えました。「挑戦は続く」ということです。一つの挑戦が終わった先には、また別のステージが広がり、目標に向かう挑戦が続くのだと思います。坂本選手は、オリンピックで自身が選手として金メダルを取るという挑戦をし、その目標はかないませんでした。ですが、今度は、コーチとして金メダルを目指すという挑戦が続いていくのです。

これは、なにも坂本選手だけの話ではありません。私たち一人ひとりにも同じことがいえると思います。人生は挑戦の連続です。目標に向かって挑戦するために、学び、成長する。そして、また新たな目標に向かって挑戦する。その繰り返しは 自分の人生をつくっていくのだと思います。卒業生の皆さん、ぜひ、自分の夢や目標に向かって挑戦してってください。卒業生の皆さんが、挑戦を続ける人になること、自分の人生を力強く歩んでいくことを 心より願っています。